

施策番号	0501		
施策名	生活安全（防犯・事故防止）の推進		
概要	関係機関との連携を強化しながら、防犯のための啓発や環境づくり、交通安全のルールやマナーの啓発を行うとともに、地域における防犯・事故防止の取組を支援する。		
担当局・部室	文化市民局・市民生活部	共管局・部室	
上位政策	5 市民生活の安全		
施策に関係する 主な分野別計画等	生活安全（防犯・事故防止）基本計画		

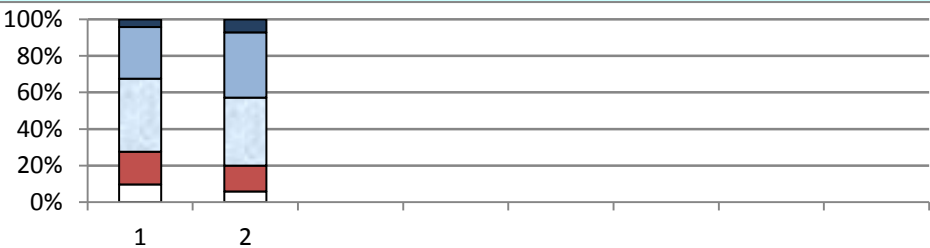
施策の評価

1 客観指標評価

指標名		23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1	交通事故による死者数(人)	a	b	47	45	37人以下	78.4%	b	1.00
2	交通事故による死傷者数(人)	a	a	10,465	9,155	11,280人以下	118.8%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		25年度回答					有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1	犯罪や事故など万が一のことがあっても、お互いに助け合えるまちである。	22 4.2%	150 28.3%	212 40.0%	95 17.9%	51 9.6%	530	c
2	事故や犯罪を防ぐための自治会や警察、京都市などの取組により、安全にらせるまちになっている。	38 7.1%	192 35.8%	200 37.2%	76 14.2%	31 5.8%	537	c
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						24 年度	B
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	c			
(重み付けの理由) 「交通事故の死者数」などの客観指標の数値よりも、市民が安全を実感した「体感治安」の向上の方がより安全対策の効果の現れと言えることから、市民の実感に重みを置くこととする。							23 年度	B
(原因分析) ・交通事故発生件数は、過去10年間を見ると、平成14年をピークに減少傾向にある。交通事故による死傷者数については目標を大幅に上回るペースで減少しているが、交通事故による死者数については平成23年と比較したところ2名減少したものの、過去最少であった平成20年(34人)と比較すると増加を見せるなど、中期的には横ばい状況に留まっている。 ・一方、いわゆる「体感治安」を示す市民の実感については、自治組織・警察・行政による取組が比較的信頼されているが、市民生活実感総合評価ではc評価となっており、改善の余地がある。								

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	安全・安心なまちづくりに向けた環境施設再整備事業	5,162	618,152	—	環境政策局
2	違法駐車等防止対策事業	231,715	195,291	かなり良い	行財政局
3	防犯推進委員連絡協議会助成	1,800	1,800	かなり良い	文化市民局
4	生活安全条例に基づく施策の推進	49,240	91,082	かなり良い	文化市民局
5	交通安全対策の推進	83,169	82,950	良い	文化市民局
6	地域の安心安全ネットワーク形成事業	30,531	—	良い	文化市民局
7	京都市路上喫煙等の禁止等に関する条例の推進	89,850	78,921	良い	文化市民局
8	犯罪被害者支援策の推進	22,976	24,871	普通	文化市民局
9	野生鳥獣による生活環境被害防止対策及び自主防除組織支援対策	32,307	30,918	良い	文化市民局
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・引き続き、学区の安心安全ネットの継続的な取組を応援するため、補助金、防犯活動支援物品の貸出し、NPOなどによる防犯・交通安全出前講座、点検・整備及び保険の双方の機能を有するTSマークの普及・促進や京都府警察が設けた学生防犯ボランティア登録制度である、ロックモンキーズとの防犯合同啓発を実施するとともに、ロックモンキーズの活動に対しても、補助金を支給する。
・平成24年度から創設した自治連合会や町内会といった地域団体を対象とした街頭防犯カメラの設置促進のための補助制度を、平成25年から2箇年に渡り大幅に増額して実施する。
・こうした事業により、防犯、地域福祉、防災、子どもたちの安全対策など、身近な安心・安全の確保のための、市民の自主的な活動を応援する。

施策名	0501	生活安全（防犯・事故防止）の推進				
-----	------	------------------	--	--	--	--

指標名	交通事故による死者数（人）						
-----	---------------	--	--	--	--	--	--

担当課	くらし安全推進課			連絡先	2 2 2－3 1 9 3		
-----	----------	--	--	-----	---------------	--	--

1 指標の説明

交通事故発生から24時間以内の死者数

2 指標の意味

交通事故や犯罪が少ない安心・安全なまちづくりに向けた進み具合を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：京都市主要統計

4 数値

	前回数値 23年	最新数値 24年	推移	目標値		
	数値			数値	根拠	達成度
数値	47	45	2人減	37人以下	平成22年の目標値（40人以下）と、平成32年の目標値（25人以下）から、各年度の目標を等差的（-1.5人/年）に算出	78.4%

	全国順位	中長期目標				備考
	数値	目標年次	達成度	根拠		
数値		25人以下	32年度	20.0%	第2次生活安全基本計画	

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

・当該指標は市民の「自らを守る意識」の高まりなどが大きく影響することなどから、80%以上をa評価
・以下20%刻みでb～e評価

7 評価結果

23	24	25
a	b	b

1 指標の説明

交通事故によって負傷し、治療を要する者の数（交通事故発生から24時間以内の死者数を含む。）

2 指標の意味

交通事故や犯罪が少ない安心・安全なまちづくりに向けた進み具合を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：京都市主要統計

4 数値

	前回数値 23年	最新数値 24年	推移	目標値		
	数値			数値	根拠	達成度
数値	10,465	9,155	1,310人減	11,280人以下	平成22年の目標値（12千人以下）と、平成32年の目標値（8,400人以下）から、各年度の目標を等差的に算出	118.8%

	全国順位	中長期目標				備考
	数値	目標年次	達成度	根拠		
数値		8,400人以下	32年度	91.0%	第2次生活安全基本計画	

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

・当該指標は市民の「自らを守る意識」の高まりなどが大きく影響することなどから、80%以上をa評価
・以下20%刻みでb～e評価

7 評価結果

23	24	25
a	a	a